

航空輸送の安全にかかわる情報の報告（平成 28 年度上半期）（要約版）

1. 航空事故・重大インシデントの発生の概況

平成 28 年度上半期において本邦航空運送事業者の運航に伴い発生した航空事故及び重大インシデントは以下のとおり。

○ 航空事故（1 件）

- ・平成 28 年 8 月 8 日、朝日航洋機（川崎式 BK117C-2 型）は、神奈川県秦野市内場外離着陸場に着陸した際に強めの接地となり、機体後部のテールブームが折損した。

○ 重大インシデント（3 件）

- ・平成 28 年 4 月 17 日、アイベックスエアラインズ機（ボンバルディア式 CL-600-2C10 型）は、目的地の悪天候のため福岡空港へ引き返し中、抽気系統に不具合が発生し航空機内の気圧が低下したため、航空交通管制上の優先権を要請し、同空港に着陸した。
- ・平成 28 年 5 月 27 日、全日本空輸機（ボーイング式 737-800 型）は、上昇中、航空機内の気圧が低下したため引き返し、東京国際空港に着陸した。
- ・平成 28 年 7 月 9 日、ジェットスター・ジャパン機（エアバス式 A320-232 型）は、飛行中、機長席及び副操縦士席の速度計の指示が一時的に不安定になったが、その後回復したため飛行を継続し、成田国際空港に着陸した。

2. 安全上のトラブルの発生概況

平成 28 年度上半期においては、航空事故 1 件、重大インシデント 3 件及び安全上のトラブル 536 件の合計 540 件発生しています。

表：安全上のトラブルの内容別分類件数^{注1)}

※航空運送事業者から安全上のトラブルの報告が 550 件ありましたが、同一事象に関して複数報告された事案については、ここでは 1 件として計上しています。

機材 不具合	ヒューマンエラー						回避操作		発動機の異 物吸引によ る損傷	部品脱落	危険物の 誤輸送等 ^{注4)}	その他
	運航	客室	整備	地上作業	製造	その他	TCAS RA ^{注2)}	GPWS ^{注3)}				
199	46	4	65	62	2	0	92	22	2	5	26	11
	179						114					

注 1) 分類別の件数は、今後の要因分析の進捗により変更されることがあります。

注 2) 航空機衝突防止装置の回避指示に基づく回避操作を表します。

注 3) 対地接近警報装置の指示に基づく回避操作を表します。

注 4) 危険物の漏洩を含みます。

3. 安全上のトラブルの評価・分析と今後の対策

第 20 回航空安全情報分析委員会において、平成 28 年度上半期の安全上のトラブル等について審議した結果、それぞれの事案について、関係者により必要な対応がとられており、引き続き適切にフォローアップを行っていくべきことが確認されました。

また、引き続き、安全上のトラブル等の航空安全情報の分析に基づく、機材不具合への是正対策、ヒューマンエラー防止に向けた取組み、TCAS RA や GPWS による回避操作に係る情報収集を進め、各事案への対応を適確に行うとともに、安全情報の一層の活用により、個々の航空運送事業者の環境に応じた監査を実施するなど、更なる輸送の安全確保に向けた取組みを進めることが必要であるとの評価を受けています。